

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [21] 東京都台東区立うえの高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	あさくさ・やなか・みのわ高齢者在宅サービスセンター
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入2,679,635,858円, 歳出2,542,831,771円, 収支差額13,680,487円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区東上野2-25-14
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 2,130.8㎡の内330.78㎡ RC造地上5階のうち3階の一部
(6) 人員体制	10名 内訳…事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤2、非常勤4)、看護職員(2)

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名）
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(22年度から)	24,008,000	27,514,000	16,463,000	10,000,000	8,000,000
	料金収入等	55,776,000	57,881,000	61,009,000	69,036,000	65,358,000
	管理経費	79,784,000	85,395,000	77,472,000	79,036,000	73,358,000
決算	委託料(22年度から)	21,060,500	14,967,252	16,463,000	10,000,000	8,000,000
	料金収入等	62,320,753	72,076,982	81,661,764	89,669,439	79,731,393
	管理経費	70,834,505	68,996,077	71,198,739	88,595,058	68,746,655
	収支	12,546,748	18,048,157	26,926,025	11,074,381	18,984,738

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	311	311	311	312
定員	人	30	30	30	30

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率	%	93.0	87.4	92.3	88.4
利用者数	人	8,700	8,158	8,612	8,273

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

利用者の誕生日に、職員の付き添いで散歩や喫茶店に出かけるなど、利用者本意のサービスを目指している。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	介護職員の半数以上が介護福祉士の資格を有するなど、専門性の高いサービスを行っている。また、近隣企業と防災協定を結び、合同訓練を実施するなど、良好な事業運営がなされている。
(2) 施設の維持管理	A	施設設備の定期的な保守点検の実施後、速やかに区へ報告を行っている。また、清掃業務及び警備業務は委託を行っているが、業務内容を業務日誌や実地検査で確認しており、適切な施設管理を行っている。
(3) 利用者の満足度	A	利用率は下がっているが、満足度調査の結果でも高い評価を受けており、誕生日には職員と外出するなど利用所本位のサービスが提供されている。地域での行事も積極的に参加するなど、地域交流に努めている。
(4) 歳入歳出	A	指定管理料の縮減や管理経費の縮減が図られており、適切に予算執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当 地域との交流を積極的に行い、利用者本位のサービスを提供しており、全体的に良好な事業運営がなされている。指定管理料の縮減、管理経費の縮減が図られており、経営努力が見られる。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

満足度調査の結果も高い評価を受けており、全体的に良好な運営がなされている。引き続き地域との交流や利用者本位のサービスの提供に積極的に取り組み、利用率向上に結び付けていく必要がある。